

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業 点検・評価調査

4- -21

4-  
-21

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	ピーク時を想定した緊急受入対応の検討
節	.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	21 渋滞等予測調査の実施	事業主体	佐渡市建設課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課、(株)ゴールデン佐渡
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>ピーク時を想定した渋滞等予測調査を実施することにより、駐車場や代替交通、仮設トイレ等の整備・検討を行う際の資料とする。</p> <p>【事業内容】</p> <p>現況の交通量調査を踏まえ、登録前後の増客想定による渋滞予測を行う。</p>		
⑳事業計画と実績	<p>【29年度計画】</p> <p>県(都市政策課)が実施する相川地区都市計画道路に関する交通量調査について、結果データが渋滞予測調査の基礎データとして活用できる内容が協議・検討し、今後の渋滞予測調査の方向性を見極める。</p> <p>【29年度実績】</p> <p>県が実施した交通量調査成果を検証した結果、繁忙期を想定した渋滞予測調査としては不十分であることが判明した。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <p>県の調査結果を活用できないことが判明したことから、必要な項目を網羅した新たな渋滞予測調査を実施する必要がある。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>渋滞予測を前提にした調査を実施する方向での予算確保に努めていきたい。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 ( a (b) c )</p> <p>【事業実施の効果】 ( a (b) c )</p> <p>【総合評価】 ( A (B) C )</p> <p>予定していた県の交通量調査は終了しており、データが活用可能かの協議・検討も実施できているため、現段階では、概ね計画どおり進んでいるものと考えられる。</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。